

下都賀地区人権教育指導者一般研修 人権フォーラム
多様性が豊かさとなる未来のために
～外国にルーツを持つ子どもたちとの関わりを通して～

講師
NPO 法人青少年自立援助センター
YSCグローバルスクール 統括コーディネーター ピッチフォード 理絵 氏

日 時 令和 8(2026)年6月4日(木)
会 場 日東工業エニホール(野木町文化会館)

講演では、これまでの豊富なご経験を基に、外国にルーツを持つ子どもたちの多様な背景から、子どもたちが抱える言葉の困難さ、日常の中にある偏見や生きづらさについて具体的なエピソードを交えてわかりやすくお話いただきました。

「多様性は『配慮すべき負担』ではなく、社会を多角的で豊かにする『資産』であり、違いがあるからこそ学び合うことができる」というお言葉から、多様性を社会の豊かさにつなげていくことの必要性を強く感じました。居場所やわかり合える仲間、信頼できる大人の存在は、全ての子どもたちにとって必要不可欠であることを再確認することができ、多くの学びを得ることができた研修となりました。



下都賀地区PTA指導者研修Ⅰ
PTA活動をより良くするために
～PTA指導者として知っておきたいこと～

日 時 令和 8(2026)年6月16日(火)
会 場 小山市桑市民交流センター「マルベリー館」

本研修会では、「PTAの目的」と「PTA指導者の役割」をテーマに、改めて「PTAとは何のための組織なのか」、そして「PTA指導者にはどのような役割が求められているのか」について理解を深めました。また、参加者同士の対話や意見交換を通して、PTA活動をより良くするための視点についても考える機会となりました。グループ協議では、同じ校種でありながらも他市町の参加者同士で交流を行ったことで、各学校の特色ある取組や工夫について情報交換することができました。

参加者アンケートでは、「他の学校の取組を知ることができて参考になった」「楽しく学ぶことができた」といった声が多く寄せられ、満足度の高い研修となりました。

また、今後のPTA活動に前向きに取り組みたいという感想も多く見られ、研修の趣旨に沿った有意義な学びの機会となりました。



あかりがつなぐ、まちと未来
～子どもたちと一緒に願いの灯りを灯す～

下野市

下野市では、約500本の様々な種類の桜が咲き誇る桜の名所である天平の丘公園で、夏の夜にろうそくが入ったカップ型の灯籠を使用し、園内一面に灯りを灯す「しもつけ燈桜会」を開催しています。このしもつけ燈桜会に、中高生で構成されている下野ジュニアリーダースクラブが7月19日にボランティアとして参加しました。猛暑の中、一つひとつのカップに水を入れ、丁寧にろうそくに火を灯していく姿は下野市の「夏の風物詩」といっても過言ではありません。若い世代の手が加わることで、まちの願いが未来へと受け継がれ、また、子どもたち自身にとってもこの経験が地域への愛着をさらに深める機会になったと思います。スタッフである私自身もこの光景に気温以上に胸が熱くなり、溢れる涙で幻想的に滲む灯りをただただ見つめていました。



地域をつなぐふれあい学習 ～ 各市町の取組② ～

学童期の「放課後の居場所づくり」を進めています 小山市

令和7年9月より小山城南小学校と中小学校をモデルに開設した「放課後カラフルタイム」は、児童の体験の機会を増やす居場所の「放課後子ども教室」と留守家庭等児童の「学童保育」を連携して行う新たな取組です。これまで約1年試行錯誤しながら、スタッフの努力や体験プログラムの充実によって楽しい放課後の居場所として受け入れられており、両校児童の登録割合も令和7年度の31.9%から令和8年度は40.4%に増えました。

また、市内の5つの小学校で実施している「放課後子ども教室」も、地域の皆様に長年支えられている大切な放課後の居場所です。令和7年度には乙女小学校の「乙女っ子なかよし広場」が開設15周年を迎え、子どもたちと一緒に記念式典を行いお祝いしました。



ふれあい学習で広がる地域とのつながり 野木町

7月15日「放課後夏祭り」と題し、夏祭りを開催しました。スタッフ研修で作った割り箸鉄砲の的当てやペットボトルキャップで作った金魚釣り、個々で絵を描いたうちわなど、子どもたちと協力して準備を進め大好評でした。当日は縦割りグループで5つのブースを回り、暑さも吹き飛ばす盛り上がりで心躍る喜びの多い時間となりました。

スタッフは、地域コーディネーターを中心としてPTA、学校支援の方、元教員、今年度から加入の中学生など様々です。10代から80代の経験豊富で柔軟な考えの世代が集まり、互いの意見を尊重し認め合える風通しの良い雰囲気です。スタッフそれぞれが子どもたちに負けなくらいに活動を愛しています。スタッフたちにとっても自慢できる仲間に出会えたかけがえのない居場所になっています。



「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指します。

